

自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2021 横浜

展示会出展のご案内

この度、パシフィコ横浜にて開催されます『自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展2021横浜』にて、最新の三次元測定システム&ソリューションを展示いたします。
この機会にぜひ弊社ブースにご来場いただきますよう、お願い申し上げます。

出展内容

- 生産性向上を実現する4つの計測ソリューション「Leicaレーザートラッカー」
- 検査に関するお悩み解決 非接触3Dスキャナ「FLARE」
- ものづくりの生産性向上を実現する 多関節型三次元測定システム「VECTORON」
- 段差・隙の測定結果フィードバックによる不良品流出阻止・リペア工数減「Gap-NINJA」

各ソリューションの詳細は添付資料をご覧ください。

会場	パシフィコ横浜		
入場料	無料（招待券をお持ちください）	会期	2021年5月26日（水）～ 5月28日（金）
小間番号	194	開場時間	10:00～18:00 ※（金）のみ17:00終了
URL	https://expo.jsae.or.jp/		



生産性向上を実現する4つの計測ソリューション「Leicaレーザートラッカー」

New Scanner Debut !

1：製造現場での活用事例：製品検査等

ホワイトボディ・パネル等の製品の寸法・形状検査

マニュアル計測



2：製造現場での活用事例：設備検査

金型・治具・生産設備等での検査・組立

マニュアル計測



3：製造現場での活用事例：自動計測

産業用ロボットを活用しての自動計測・AGV+協働ロボットを活用しての次世代自動計測

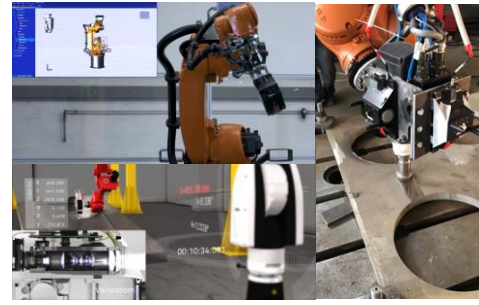
自動計測（有接触・非接触）



4：製造現場での活用事例：6自由度ロボットガイダンス

ロボットキャリブレーション・治具レス位置決め自動化溶接・塗装等ロボット精度向上・ティーチング工数削減

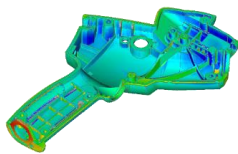
自動計測



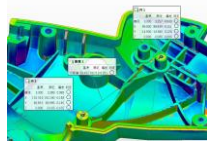
検査に関するお悩み解決 非接触3Dスキャナ「FLARE」

1：試作工数の大幅削減

- ・すぐに結果が欲しいのに検査に時間がかかる・・・
- ・問題箇所はわかるけど、何を修正したらよいか分からない



誤差カラーマップによる不具合要因の早期発見



自動寸法検査

2：検査者選ばず誰でも簡単計測

- ・担当者がいないと計測出来ない・・・
- ・検査者の育成が大変・・・
- ・検査者によるばらつきが大きい・・・



ターゲットレスで前準備なく自動ターンテーブルで半自動測定の為、誰でも簡単に測定可能。

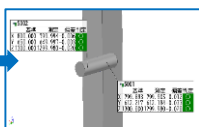
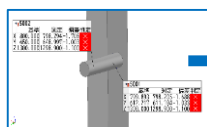


3：金型から製品まで幅広く検査可能

- ・金型の素性が分からない、本当に合っているか・・・
- ・物が大きく、検査場まで持って来るのが大変・・・



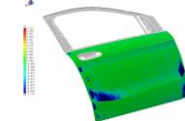
一つのセンサーで大物（金型）から小物（製品）まで測定可能



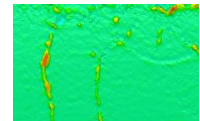
治具の検査は勿論、調整時にも活用可能

4：新たな発見

- ・単品は良いのに、組付けると問題発生、どうなっているの・・・
- ・現場に持っていくと、問題が・・・
- ・官能評価で検査者によってばらつきが・・・



パネル歪、ダイカストクラック等の官能評価を定量値化

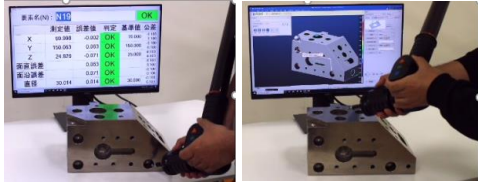


解析結果を実物に投影し、現物評価

ものづくりの生産性向上を実現する多関節型三次元測定システム「VECTORON」

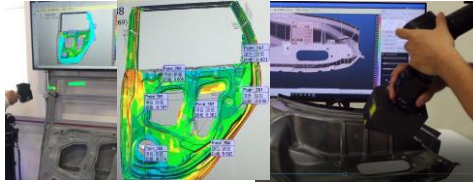
要素測定・寸法測定

- ・要素測定は結果がリアルタイム表示
- ・寸法測定モード搭載で無駄なPC操作不要



リアルタイム解析

- ・カラーマップ+数値で視覚的+定量評価
- ・CAD上に検査箇所設定可(例：穴エッジ)



Made in JAPANの操作性

- ・抜群の操作性で長時間測定もストレスフリー
- ・ブレーキ機能搭載で任意の場所で保持可



ユーザーフォーマット対応レポート

- ・お客様がお使いのExcelフォーマットに自動出力
- ・測定後はボタンひとつで各フォーマットへの出力



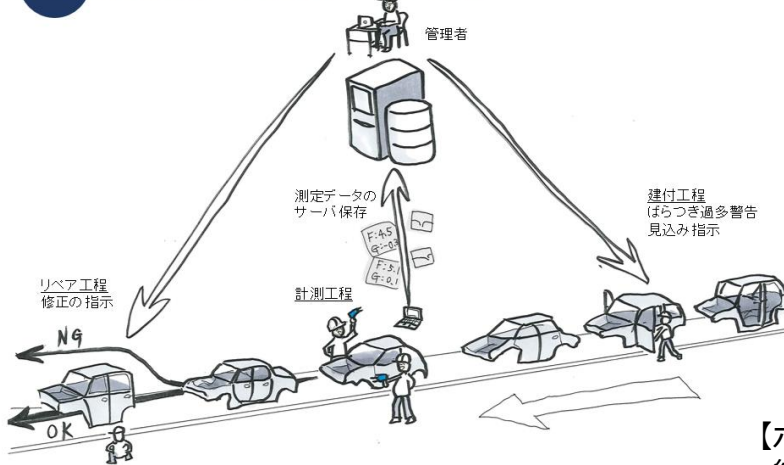
測定準備・測定・解析・報告書作成の分業が実現 (REGALISソフト)

- ・Pro版ライセンスは測定に特化 (稼働率向上)
- ・Lite版ライセンスは測定準備や解析に特化、Viewer版で3Dデータでの情報共有が可能に



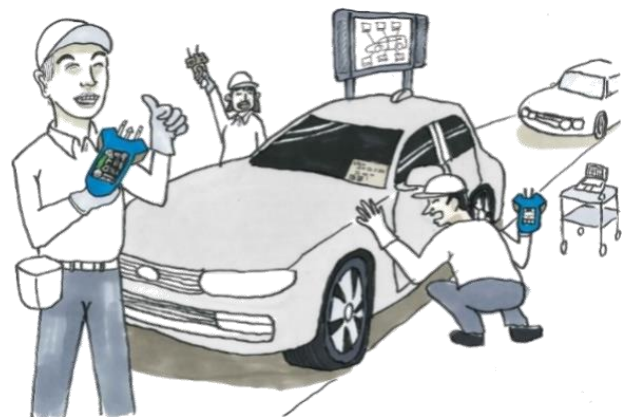
段差・隙の測定結果フィードバックによる不良品流出阻止・リペア工数減「Gap-NINJA」

前後工程へのフィードバック



【新機能】 Excelへの測定値ダイレクト入力が可能！

帳票作成工数をゼロに！



【ポイント】

- ・結果をリアルタイムに前後工程へフィードバック
- ・後工程で修正箇所が明確に
- ・前工程作業の修正を行い後工程での修正削減

【導入効果】

不良品流出コスト削減、
修正削減で製品品質アップ！